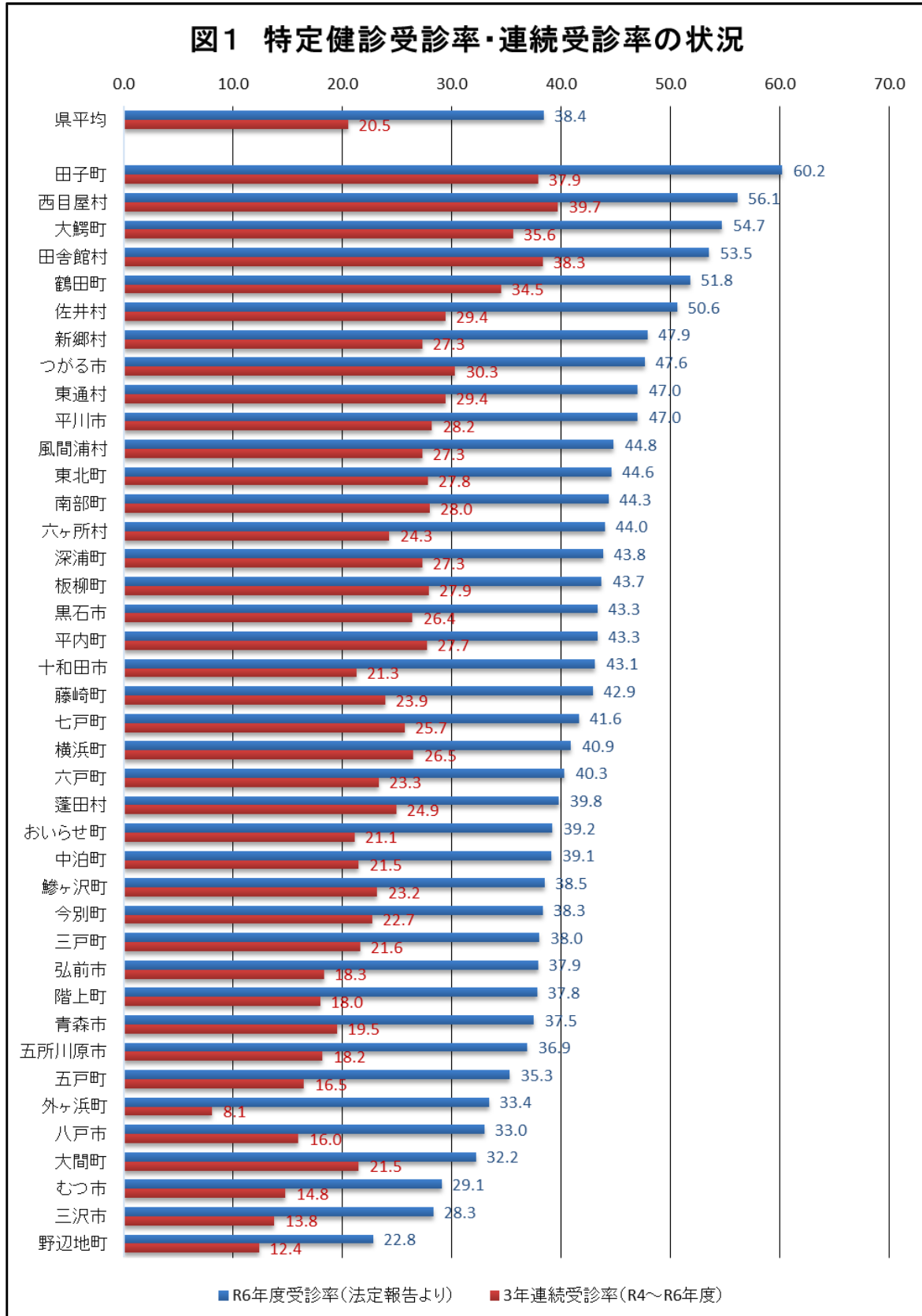


# 特定健診受診率と３年連続受診率の状況

国保データベース（KDB）システムの「被保険者管理台帳【R06 年度（累計）】」データを加工し、令和６年度特定健診対象者が令和４年度～６年度の３年間連続して受診している割合を取りまとめた。（図１参照）



本県の令和6年度における3年連続受診率は、前年度比0.2ポイント増の20.5%と3年連続で上昇した。

また、連続受診率は、保険者が推進する特定健診が地域に根付いているかどうかの指標となるため、毎年継続して受けていただくことにより、以前の状態との変化が見え、疾病の早期発見につながりやすくなることから、被保険者自身の健康意識の向上と医療費適正化の効果が期待できる。

引き続き、継続した受診率向上の取組をお願いします。

## ～ 連続受診率の算出方法 ～

- ① KDBシステム「被保険者管理台帳」を開く（図2参照）
- ② CSVデータをダウンロード（図3参照）
- ③ 国保取得年月日欄で「R7年4月2日以降」の資格取得者を削除
- ④ 国保喪失年月日欄で資格喪失者を削除 ⇒ R7年度健診対象者数が判明
- ⑤ フィルタ機能によりR4、R5、R6の3年連続受診者を抽出  
⇒ R4～R6年度連続受診者数が判明
- ⑥  $3\text{年連続受診率} = \text{R4～R6年度連続受診者数} \div \text{R7年度健診対象者数}$

**図2**

**図3 (不要なセル削除後)**

## ～ 受診勧奨は対象者に優先順位をつけて効果的に進めよう ～

国保データベース（KDB）システムの「被保険者管理台帳」（図2）は、40歳から74歳の被保険者全員を対象に直近10年間の健診受診（保健指導）の有無、医療機関受診（生活習慣病）の有無、介護認定（介給受給）の有無をリストで見ることができます。

市町村においては、このデータを使用することで、健診複数年未受診者や医療未受療者、年齢などによりターゲットを絞った受診勧奨を進めることができますので、是非ご活用ください。